

防災・減災クエスト

▶どの しれんに ちょうせん する？

- ▶ものの しれん
- ▶ちからの しれん
- ▶なわの しれん
- ▶ほのおの しれん

ゆうしゃ

じしん はっせい！ そのとき きみに なにが できる？

なかまと きょうりよくして 4つの しれんを クリアしよう！

■概要

グループで協力して課題解決する活動を通して、防災・減災について考えます。

■ねらい

災害時に必要な知識やスキルを学び、防災に関する考えを深める。

■準備物(あるとよいもの)

1	○水筒
2	○帽子
3	○タオル
4	△活動に必要な物品(非常品持ち出しカード・ワークシート、毛布、カラーコーン、ロープ、薪、メタルマッチ、麻ひも、トレー)

○…あるとよいもの

△…交流の家にあるもの

■指導者、人数、費用など

対象	小学校4年生以上
指導形態	職員が活動の説明・進行・ふりかえり等を指導します。 ※活動によっては団体指導者のサポートをお願いします。
人数	5~40人 ※41人以上で実施する場合はご相談ください。
1グループあたりの人数	6~8人
費用	一回につき指導料7500円
実施時間	2.5 時間程度
場所	屋外、屋内どちらでも可
時期	1年中

■服装

運動ができる服装

運動靴、上靴(室内で実施する場合)

■事前

・団体内でグループ分けを考えておいてください。

■展開

	職員の動き	研修生の動き	団体指導者の動き
導入	防災・減災クエストのねらいと内容を説明する。	活動場所に集合し、班ごとに整列する。	
活動	<ul style="list-style-type: none">・各活動25～30分で、4つの活動（①物の試練、②力の試練、③縄の試練、④炎の試練）を行う。・それぞれの活動の説明、タイムキーパーを行う。・活動の最後に行う振り返りの進行をする。 <「力の試練」留意事項> <ul style="list-style-type: none">・ふざけて運ばない。・負傷者役が毛布に寝てから運び始める。 <「炎の試練」留意事項> <ul style="list-style-type: none">・メタルマッチの火花を人や草に向けない。・やけどをしないように注意する	<ul style="list-style-type: none">・左記の4つの活動を、班で協力しながら行う。	<ul style="list-style-type: none">・各活動中に研修生を見守り、必要に応じて助言をする。・「力の試練」「炎の試練」の際には、各班の近くで安全管理に努める。
振り返り	<ul style="list-style-type: none">・活動の振り返りの進行を行う。・「自助・共助」について話す。	<ul style="list-style-type: none">・活動を振り返り、班内で意見を述べ合う。	<ul style="list-style-type: none">・振り返りのサポートをする。

■留意点

この活動は、グループで課題を解決しながら、体験を通して防災・減災に関する考えを深めることを目的としています。活動中に様々な意見を出し合いながら、災害時にどのような行動をするのがよいのかを考えることが参加者たちに求められています。また、ふりかえりの重要なポイントとなります。指導にあたる方々はそのことを十分に踏まえ、活動中にグループをうまく機能させるための助言や安全面以外での過度なグループへのかかわり、指示や介入は避けたほうがより効果的です。

■雨天時の対応

雨天時でも屋内で実施可能です。

■活動一覧

①「物の試練」

ねらい:グループで非常持ち出し品を考えることで、人や状況によって必要なものが違うことに気づく。また、限られた時間内で合意形成を行う難しさや、他の意見を聞くことで新たな視点に気づき、自分の考えが深まることを体験する。



②「力の試練」

ねらい:毛布を使って人を運んだり、運ばれたりする体験をすることで、身の回りにあるものが、本来の用途以外にも活用できることに気づく。また人を運ぶ際にどのような気遣いがあればよいかに気づく。



③「縄の試練」

ねらい:「巻き結び」を使って、木の束を結ぶ体験をすることで、様々な場面で巻き結びが役立つことを知り、他の結び方への興味を高める。



④「炎の試練」

ねらい:メタルマッチの使い方や有用性を知る。また火おこしを体験することで、様々な場面における火の有効性に気づく。

